

# 国内初、医薬品配送ガイドライン運航

期間：2021年（令和3年）9月～10月

医薬品  
配送



稚内市

## 目的

- 有人地帯での目視外飛行（レベル4）の実現に向けて、地域課題に根差したユースケースで、ドローン運航管理システム（UTM）を実証
- 国内で初めて、2021年6月に策定された「ドローンによる医薬品配送に関するガイドライン」に準拠して、輸送物開封対策を施して実証

## 背景・課題

- へき地への宅配便等による医薬品配送は数日かかっている
- 医薬品配送先以外の第三者による輸送物の開封対策
- 日本各地で深刻な漁業被害が発生している密漁対策
- 漁業被害をもたらす海獣（アザラシ、トド）の頭数把握

## 事業のポイント



- ✓ 国内初の航空定期便が就航する空港内への物流用ドローン飛行等の実証
- ✓ 国内初の国際標準に基づく運航管理システム（UASSP）による実証

## 期待される効果



- ✓ 非対面サービス（診療、処方箋発行、服薬指導、医薬品配送）を一連で実現
- ✓ 空港をハブとする、ドローン物流と航空物流の新たな物流網の構築

## 推進体制 <主催>



BIRD INITIATIVE（株）、ANAホールディングス（株）、（株）アインホールディングス、日本電気（株）、経済産業省 北海道経済産業局ほか

## 概要

- ✓ 2022年度を目途に実現を目指している「有人地帯（第三者上空）での補助者なし目視外飛行」（レベル4飛行）に向けて、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が実施している「DRESSプロジェクト」の一部として、稚内市の地域課題に根差したユースケースで研究開発中のドローン運航管理システム（UTM）を実証しました。
- ✓ 本実証は、「ドローンによる医薬品配送に関するガイドライン」（内閣官房・厚生労働省・国土交通省）に初めて準拠しており、第三者による開封対策を行った上で、診療・服薬指導・医薬品配送を非対面で実施しました。
- ✓ 国内で初めて、航空定期便が就航する空港における物流用ドローンの飛行・発着、複数の運航管理システム（UASSP）を実施しました。また、稚内地域の課題である、密漁監視や海獣頭数把握を目的とした実証も実施し、ドローンの活用の可能性を確認しました。



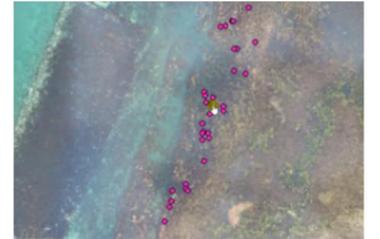
施錠により開封対策した容器



定期便が就航する空港での飛行



密漁監視中のズーム画像



アザラシの頭数把握

（資料）ANAホールディングス（株）